

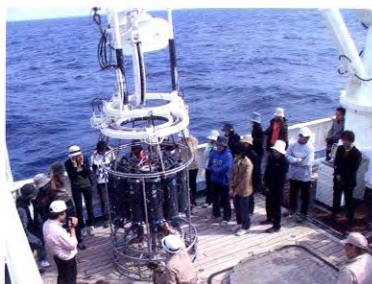
練習船

練習船等として海洋科学部に「海鷹丸」、「神鷹丸」、「青鷹丸」、「ひよどり」の4隻を所有しています。実習海域は東京湾・相模湾などの沿岸海域から黒潮域、さらには赤道海域・南極洋にまで及んでいます。海洋工学部は「汐路丸」「やよい」の2隻を所有しており、安全で効率的な新しい船舶の運航形態を学習するために、海上プロトタイプやGPS等の最新機器を備えた船舶による実験・実習を行っています。

表紙の写真は南極洋で実習中の練習船「海鷹丸」です。



汐路丸での実験・実習



海鷹丸—新入生の体験クルージング

水圏科学フィールド教育研究センター

東京のキャンパスでは経験できないフィールドでの実践教育と先端研究を行うため設置されており、陸水域生産フィールド(吉田ステーション〔静岡県〕、大泉ステーション〔山梨県〕)と東京湾臨海フィールド(館山ステーション、富浦ステーション〔千葉県〕)の2つのフィールドに分かれ、計4つのステーションがあります。各ステーションは各種研究活動のほか、フレッシュマンセミナーをはじめとする様々な学生実習の場として活用されています。また、地域社会や産業界等の窓口としての役割も果たしています。



富浦ステーション



富浦ステーションでの帆走実習

食品流通の安全管理教育プログラムの開発 (現代GP採択)

平成16年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に採択されたプログラム。BSE問題、産地や製造日の虚偽表示問題、遺伝子組換え食品の輸入問題など、食の安全性への関心が一段と高まっています。東京商船大学と東京水産大学の統合による教育研究分野の広がりを活用し、海洋科学部と海洋工学部及び大学院海洋科学技術研究科(博士前期課程)の全学科・全専攻が協力し、食品流通の安全という学際的・融合的領域について、海洋食品を中心に、その生産から加工・保存、流通、販売、消費までの「食品流通の総合的安全管理システム」に関わる専門技術者養成のための教育プログラム(専門技術者養成コース)を立ち上げ、実施するものです。



現代GP公開シンポジウム

キャンパス散策 (東京海洋大学)



東京海洋大学は2003年10月、ともに100年以上の伝統を持つ東京商船大学と東京水産大学が統合し、我が国唯一の海洋に係る専門大学として誕生した大学です。また、2004年4月からは国立大学法人東京海洋大学となり、「競争的環境下での個性輝く大学」を目指して、教育・研究・社会貢献を今まで以上に一層進めながら改革に取り組んでいます。

大学は海洋科学部・海洋工学部の2学部、大学院海洋科学技術研究科の1研究科、水産専攻科、乗船実習科からなり、環境学、生物資源学、食品科学、海洋政策文化学、システム工学、電子機械工学、流通情報工学等の幅広い学問領域において、最先端の研究に取り組んでいます。

キャンパスは海洋科学部がある「品川キャンパス」と海洋工学部がある「越中島キャンパス」があり、約2,800名の学生が在籍しています。教育の特徴は、設備の優れた実験・実習施設や練習船、水圏科学フィールド教育研究センターを活用した実践的な少人数教育にあります。コミュニケーション能力の養成にも力を入れ、日本語と英語の語学教育を重視し、新入生全員にTOEIC受験を課しています。国際交流も盛んで、世界各地64の大学や研究所と交流協定を結び、キャンパスには200人以上の留学生が学んでいます。

社会貢献については、社会連携推進共同研究センター及び知的財産本部が中心となり、大学の知的財産の活用による産学連携、地域社会との交流等の推進を行っています。また公開講座やシンポジウム、海の日記念行事等のイベント等により、地域や学外の方々にも様々な学びの場を提供しています。



品川キャンパス



越中島キャンパス

2つのキャンパスは都心にありながら、緑にあふれ、ゆったりした広さと充実した施設を持っています。

東京海洋大学ホームページアドレス <http://www.kaiyodai.ac.jp/>

情報処理センター

コンピューターを利用する教育・研究の支援を行うため、品川キャンパスと越中島キャンパスに情報処理センターを設置しており、その間を高速光ファイバで接続しています。全学的な機能は適宜のサーバ等で提供しています。また、SINET（学術情報ネットワーク）を通じ外部と接続し、学内外との電子情報交換窓口としての役割を果たしています。またe-learningシステムを導入し、情報倫理や英語学習などの自習プログラムを学生に提供しています。



なんでも相談窓口

学生相談

学生サービス課の「なんでも相談窓口」は、学生の様々な相談に対応する窓口です。相談内容によって、専門家と相談したほうがよいと判断した時は、専門家を紹介します。また、学部学科ごとに複数名の教員が、学生の入学から卒業するまでの4年間にわたり修学支援を行う学生支援教員制度が設けられています。オフィスアワーの設置については、学生支援教員の授業・実験等の実情を踏まえて、対応時間を柔軟に設定しています。

進路指導情報室

進路指導情報室職員5名で構成されています。品川キャンパス、越中島キャンパスにおいて、進学指導、就職指導などの「進路指導」を行います。企業の採用担当者を招いての会社説明会や就職ガイダンスを年間50回以上実施し、最新の企業情報や就職活動のスキルを提供しています。また、公務員、教員を志す学生には受験説明会や受験対策講座を開催するなど、きめ細かい進路指導を行っています。



就職ガイダンス

学生寮

品川キャンパス内に「朋鷹寮」、越中島キャンパス内に「海王寮」の2つの学生寮があります。朋鷹寮は全室個室（男子131室、女子93室）で、海王寮は2～3人の共同部屋（男子158室、女子10室）となっています。



朋鷹寮の室内



海王寮の室内